



しんすいこうえん なん 親水公園って何なの

みず した 水に親しむための、いろいろな施設がある公園

とし なか なか がわ せいかつはいすい なが
都市の中を流れる川は、生活廃水が流れこんでよごれていたり、こうずい ふせ
クリートで護岸工事が行われていたり、高いさくで囲まれていて、みずべ ちかよ
ているものがほとんどです。都市に住む人たちにとって、かわ ちかよ
いました。

さいきん 最近、かわ 固めた川でなく、もっと自然に近い川にして、とし じゅうみん みず
親しめるようにした公園をつくらう、といううんどう
運動がさかんになってきました。

しんすい 親水とは、みず なか みずべ
水の中や、水辺にすむ生き物たちが、すみやすいかんきょう
環境であり、そのかんきょう ひとびと
があそ 遊んだり、たの 楽しんでるものだと考えられています。

いま 今では、かわ かいしゅうこうじ
川の改修工事などをするとき、しぜん い 自然や生き物にやさしい土木工事が、どぼくこうじ
行われるようになりました。そのけっか 結果、かくち 各地にしんすいこうえん
公園ができて、すばらしいみずべ 水辺の空間と、やすらぎ
のば 場が作られました。こうえん 公園には、みずあそ 水遊びができる水路、さんぽよう 散歩用の道路、ひろば
広場、ベンチのあるやす 休み所、やきゅうじょう 野球場、ミニゴルフ場、トイレなどがようい
用意されています。

みず い 水は生きている

わたしたち人間にとって、みず か
水は欠くことのできない、じゅうよう しげん 重要な資源です。みず ちゅういぶか かんさつ
水を注意深く観察していると、みず 人間のようにきどあいらく よろこ
喜び、いかり 悲しみ、たの 楽しみがあるの
です。わたしたち人間は、「みず とも い
水と共に生きる」というはっそう 発想をもち、かわ かんきょう ととの
環境を整えるとい
うきも 気持ちが必要なのです。（監修・保岡 孝之）

